

蘇れ、アユ躍る天竜川

— 個人の取り組みから漁協の取り組みへ —



天竜川漁業協同組合

谷高弘記

<地域の概要>

浜松市の位置



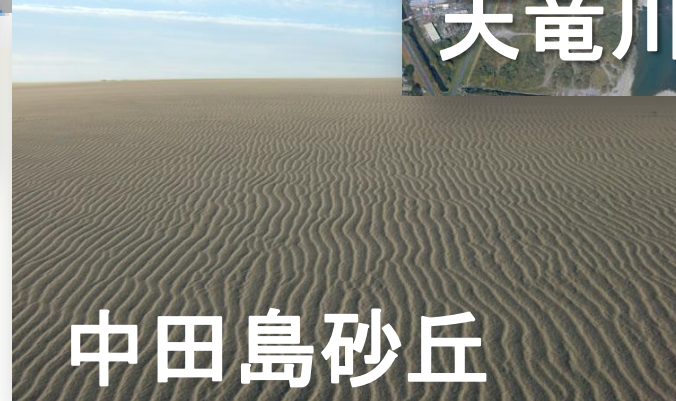
赤石山系
(天竜美林)



浜名湖



天竜川



中田島砂丘

浜松市の水産業



トラフグ



アサリ



シラス



浜松市

< 漁業の概要 >

天竜川の概要



流路延長 全国9位
流域面積 全国12位
“**暴れ天竜**”の異名



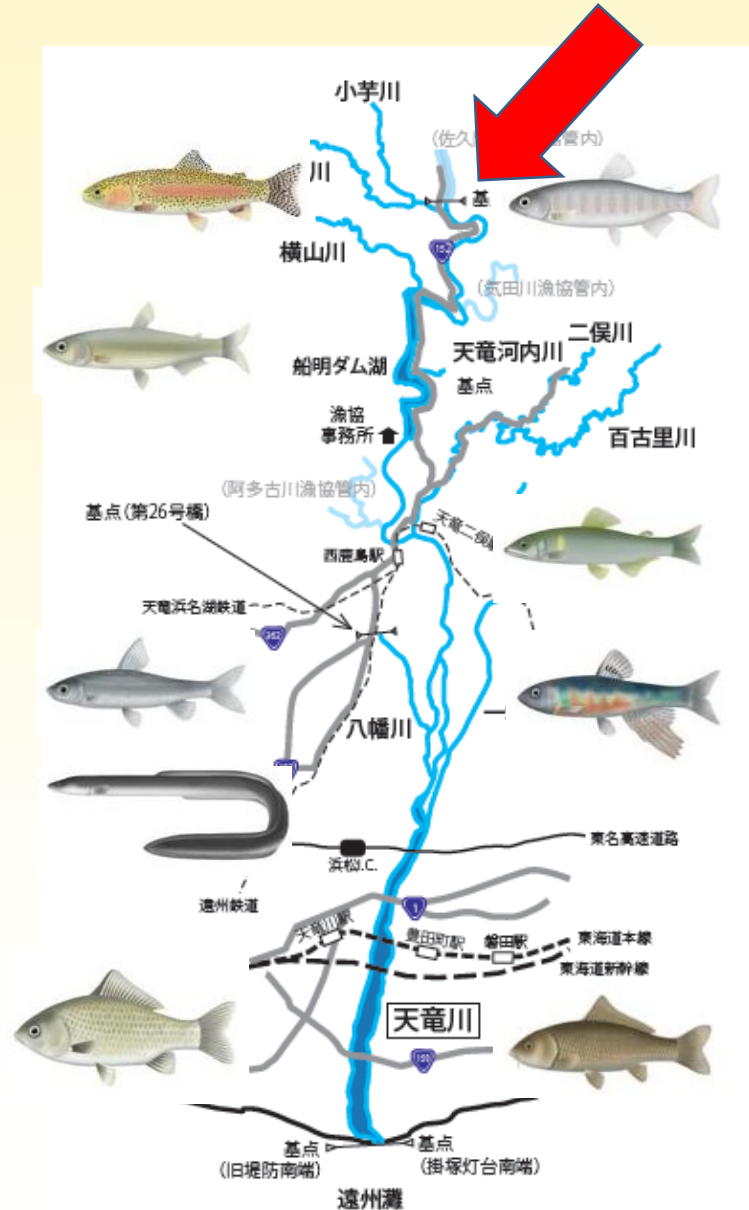
天竜川漁協の概要

組合員2,092名（県下最大）
第五種共同漁業権 9魚種

アユが最重要



**胸まで立ち込む
豪快な友釣り**



内水面及び内水面漁協の特徴

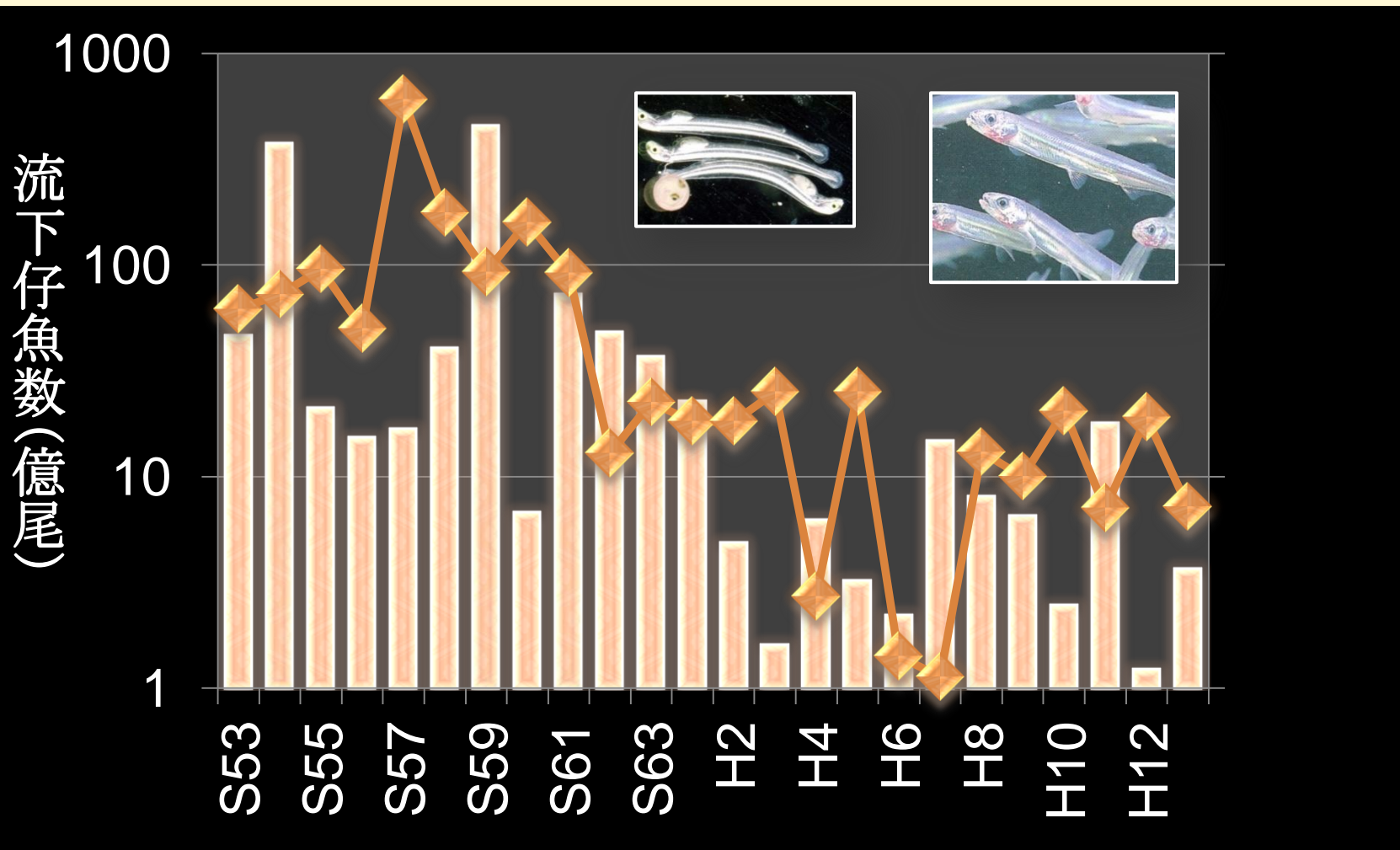
- ・内水面は海面と比較して資源が乏しい
- ・資源保護のため増殖義務が課せられている
- ・組合員以外を対象とした遊漁規則の制定
(漁具漁法の制限、禁漁措置、遊漁料、遊漁承認証等の規定)



＜研究・実践活動 取組課題選定の動機＞

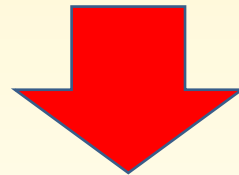
減少するアユ資源

昭和40年 アユ保護水面の指定
水試による調査の開始



問題の解決のため

- ・アユ資源水準の低下
- ・漁協関係者の調査への関心度の低さ
- ・天竜川の濁りの長期化



まずは個人で出来ることから始めよう！

- ①水試の調査に同行しアユの生態を理解
- ②水温や濁りの観測の開始



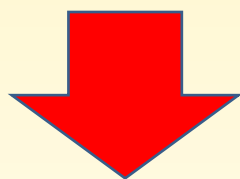
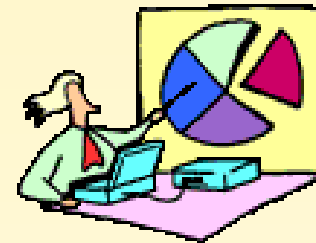
<研究・実践活動状況及び成果>

(1) 水産試験場の調査への同行

調査は時に24時間を超えることも・・・
生命や天竜川の素晴らしさを改めて実感！



調査参加者の増加
調査結果の勉強会の開催など



漁協関係者の
意識の変化

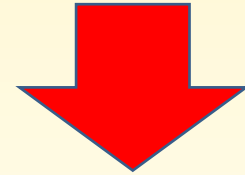


関係者全員が歩み始めた大きな一歩に

(2) 定時観測の開始と結果



濁りや水温のデータがない！

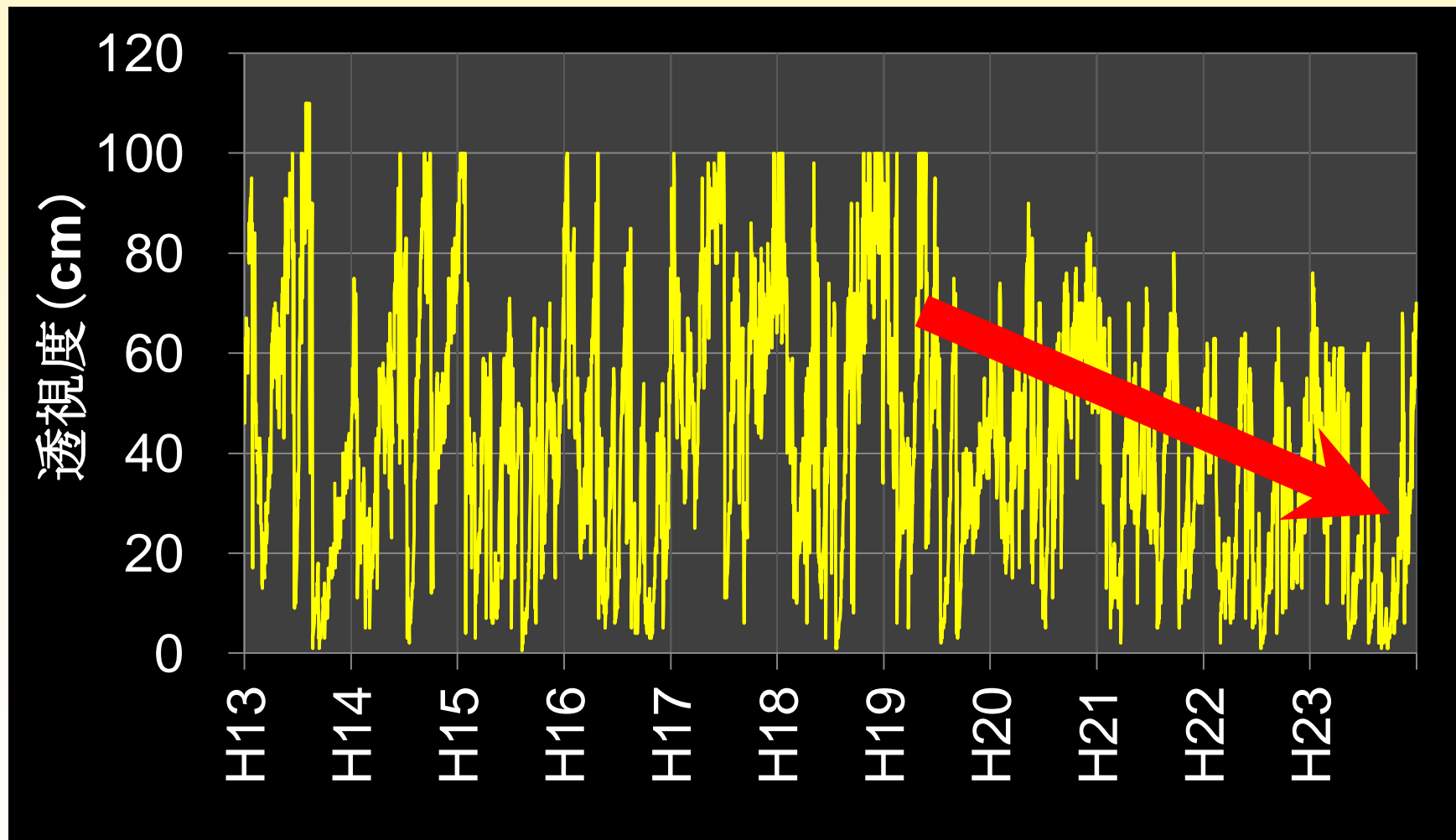


毎朝9時の観測を開始

自作した透視度計により濁りを数値化

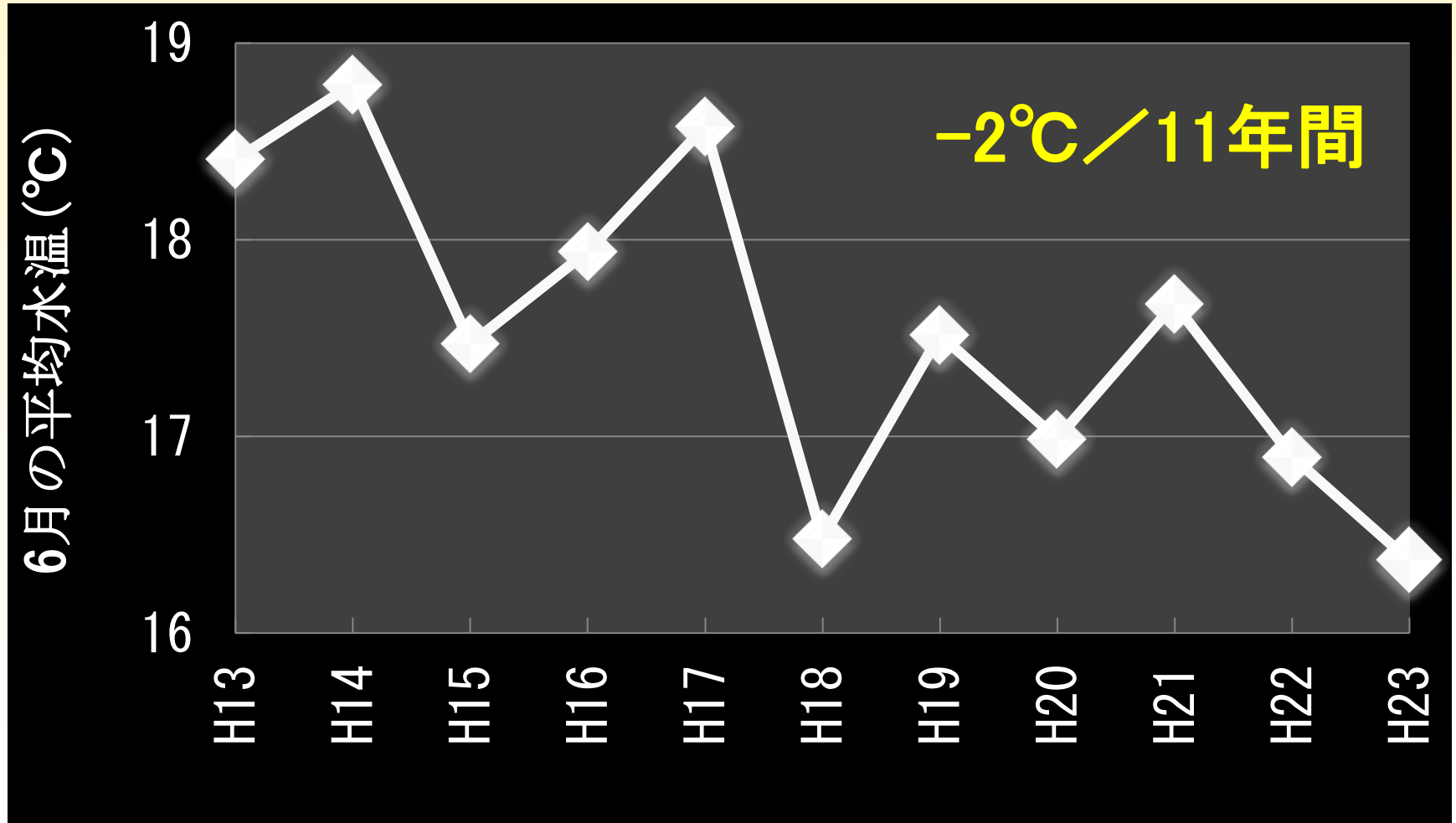


濁りの測定結果

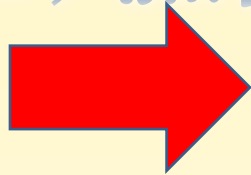


水温の測定結果

予想だにできなかった低水温化が明らかに



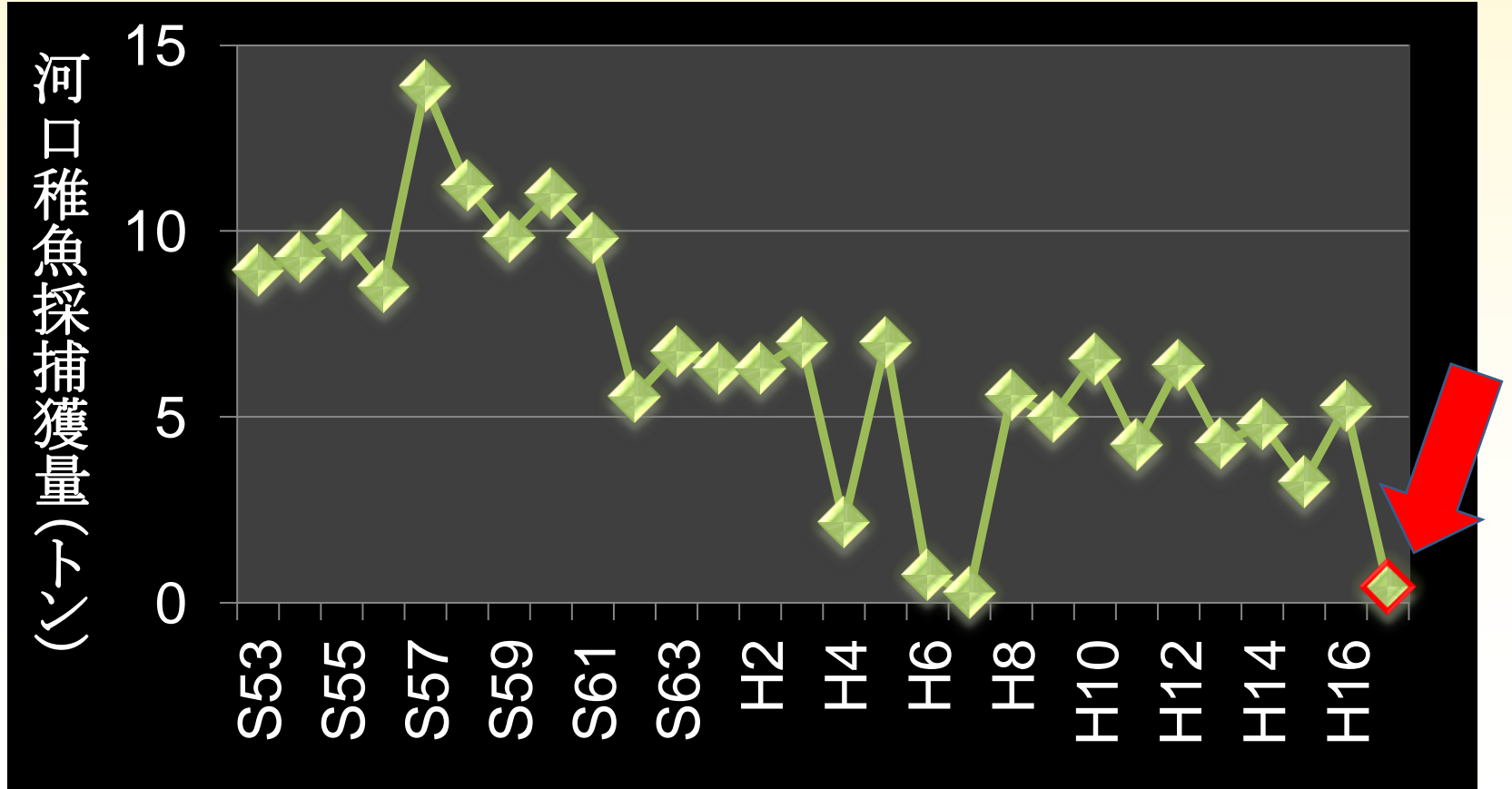
(3) 漁協の取り組みへの拡大



漁協独自調査の開始

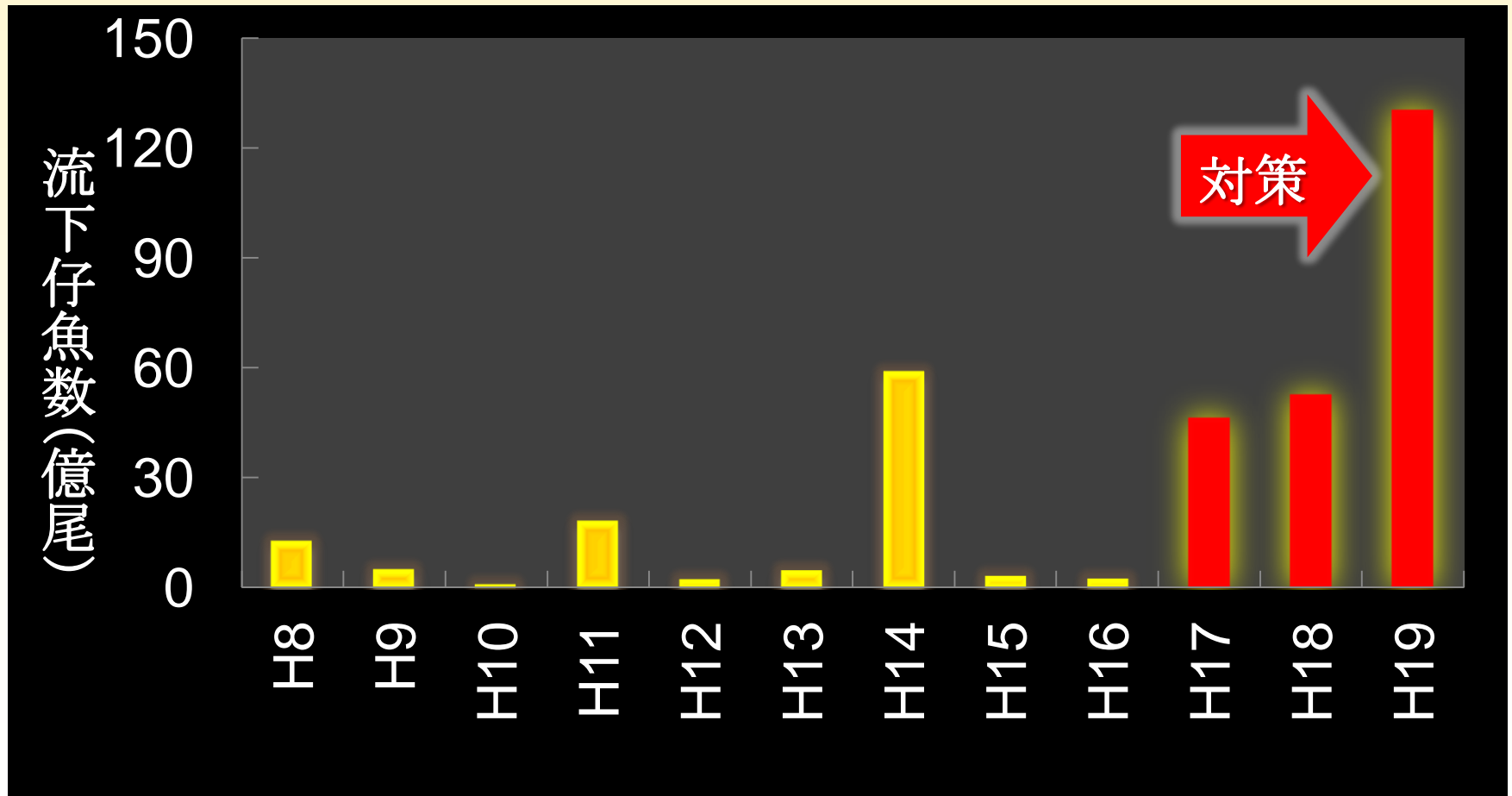
H16年 漁協執行部の交代

H17年 天然アユの遡上激減、水試の調査中止



資源管理の推進

H17年秋～ 産卵場造成事業を拡大
H18年～ 漁期や漁法的大幅修正



関係者の一致団結した成果

平成18年11月
天然アユを増やすと決めた
漁協のシンポジウム
第1回大会(天竜川大会)



現在、漁協が行う様々な取り組みに、私個人として始めた取り組みが少なからず貢献できた

<波及効果>

漁協の成長

水産庁や他県の内水面漁協、大学などから
注目される漁協に成長

天竜川河川環境講演会

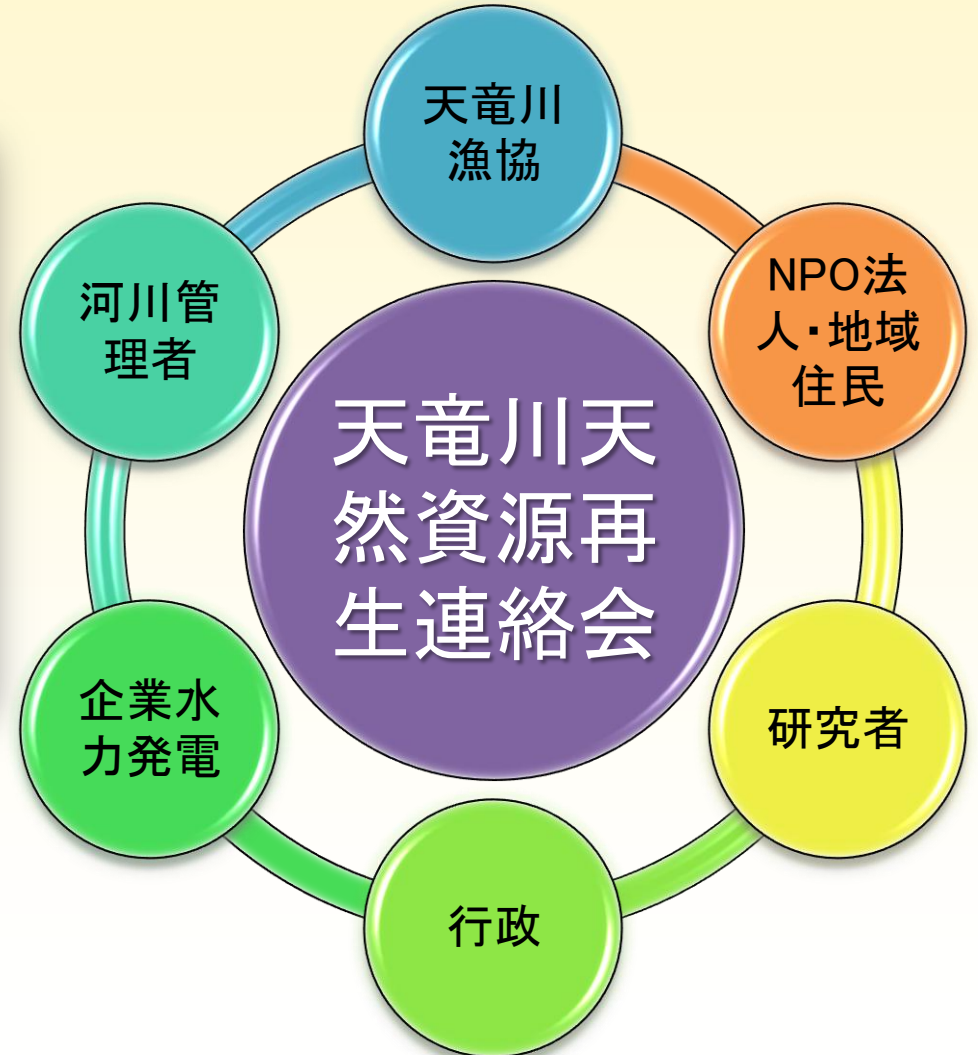


佐久間ダム堆砂見学会



次なる時代への幕開け

天竜川の再生を議論できる場が整った



< 今後の課題と問題点 >

今後の課題

- (1) 定時観測の継続
- (2) ダム問題(濁り、低水温等)の抜本的解決
- (3) アユ資源管理の徹底と食文化の伝承

全ての生物が健全に生活できる場を後世に残すことこそ、天竜川に関係する者の責務



“初心、忘れるべからず”
今後もあることから手をつけていきたい

御静聴ありがとうございました